



★ ミクロネシア諸島自然体験交流事業 2018(派遣) ★

参加希望者のみなさんへ

この事業は、日本とミクロネシア諸国の青少年の国際交流事業です。グローバル社会に対応した高い国際感覚を備えた青少年を育成することを目的としています。主催は、国立青少年教育振興機構です。

募集案内および申込書は、下記URLの国際交流事業の表にあります。今年度のものは、4月中旬に掲載予定です。昨年度の事業報告も、閲覧できます。

☆国立青少年教育振興機構ホームページ

<http://www.niye.go.jp/services/plan/honbujigyo.html>

SYDの団体推薦について

参加を希望される方(各種事業参加者)で SYD の推薦状を希望される方は、平成30年5月7日(月) SYD必着で必要書類をご提出願います。

①参加申込書、②健康状態調査票を記入し、郵便か直接SYDまでお願いします。申込内容を確認し、再提出していただくこともございますので、連絡がつくようにお願いします。申し込みにあたって、ご不明な点等ございましたらお気軽にご連絡ください。

連絡・問合せ先

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2
TEL:03-3405-5441 FAX:03-3405-5424
E-mail: info@syd.or.jp <http://www.syd.or.jp/>

SYD青年部「国際交流」係 市島



修青発 第57号
平成30年3月20日

SYD連合会・クラブ・青年部
青年部中央委員・SYD指導者
ふれあい会員・各種事業参加者 各位

Supporting Your Dreams
SYD 青年部
常務理事・青年部部长 青木 富道



平成30年度ミクロネシア諸島自然体験交流事業（SYD推薦枠）のお知らせ

拝啓 早春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、“愛と汗の精神”を実践するSYD青年部活動に対しまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

SYDの推薦する国際交流事業では、相互理解と友好を広め、広い国際的視野と国際協力の精神を養う機会を提供し、国際社会の各分野で活躍する青少年の育成を図っております。つきましては、有意な青年の参加者募集及び広報について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年度ミクロネシア諸島自然体験交流事業（SYD推薦枠）の参加者を募集いたしますのでご興味のある方はご連絡下さい。

敬具

☆同封書類 ・ ミクロネシア諸島自然体験交流事業開催要項(ウラ面参照)

☆連絡・問合せ先 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2
TEL 03-3405-5441 FAX 03-3405-5424
E-mail:info@syd.or.jp http://www.syd.or.jp/
SYD 青年部 「国際交流」係(市島まで)

平成30年度ミクロネシア諸島自然体験交流事業開催要項

1. 事業趣旨

日本とミクロネシア諸島の国々の青少年の国際交流を通して、グローバル社会に対応した高い国際感覚を備えた青少年を育成する。

2. 実施関係機関

- (1) 主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構
- (2) 後援 外務省、文部科学省（予定）
マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦、パラオ共和国（予定）

3. 実施期間・場所

- (1) 派遣 実地踏査 平成30年5月31日（木）～6月6日（水）6泊7日
※5月31日（木）は随行者研修
※6月6日（水）は実地踏査報告会
各国派遣 平成30年7月21日（土）～7月30日（月）9泊10日
※7月21日（土）は参加者研修会
※7月30日（月）は合同学習発表会（成田市内のホテル）
- (2) 受入 平成30年6月17日（日）～6月26日（火）9泊10日
地方プログラムは、国立江田島青少年交流の家、国立三瓶青少年交流の家および国立信州高遠青少年自然の家で実施。

4. 参加者

(1) 派遣

小学5年生から中学2年生までの児童・生徒 64名

サブリーダー（少年の主張全国大会出場者） 12名

随行者 24名

マーシャル諸島共和国 児童・生徒16名、サブリーダー 3名、随行者 6名

ミクロネシア連邦（チューク州） 児童・生徒16名、サブリーダー 3名、随行者 6名

ミクロネシア連邦（コスラエ州） 児童・生徒16名、サブリーダー 3名、随行者 6名

パラオ共和国 児童・生徒16名、サブリーダー 3名、随行者 6名

合計100名

(2) 受入

10歳から14歳までの青少年84名、随行者14名

ミクロネシア連邦（ヤップ州・チューク州・ポンペイ州、コスラエ州）、パラオ共和国の各5島より、青少年12名、随行者2名

マーシャル諸島共和国より青少年24名、随行者4名

合計98名

(別紙1-1)

平成30年度ミクロネシア諸島自然体験交流(派遣)日程表
～マーシャル諸島共和国～

日次	月日(曜)	地名	日 程
1	7/21 (土)	成田市内のホテル	参加者研修会 [成田:ホテル泊]
2	7/22 (日)	成田発 グアム着	成田空港へ 空路:グアムへ グアム着後、ホテルへ [グアム:ホテル泊]
3	7/23 (月)	グアム発 マーシャル(マジュロ)着	グアム空港へ 空路:マジュロへ マジュロ着後、ホテルへ [マジュロ:ホテル泊]
4	7/24 (火)	マジュロ ～ カロリン島	日本大使館職員からマーシャルの自然・文化等についての講義、買い物体験 カロリン島へ移動 無人島体験 [海の活動 マーシャルの踊りの体験 スポーツ交流 など] [カロリン島:無人島泊]
5	7/25 (水)	マジュロ ～ カロリン島	カロリン島からマジュロへ移動 [マジュロ:ホテル泊]
6	7/26 (木)	マジュロ	ピースパーク見学 ホームステイ 二人一組で現地の子供たちの家庭に宿泊
7	7/27 (金)	マジュロ	歓送交流会(夕食) [マジュロ:ホテル泊]
8	7/28 (土)	マーシャル(マジュロ)発 グアム着	マジュロ空港へ 空路:グアムへ グアム着後、ホテルへ [グアム:ホテル泊]
9	7/29 (日)	グアム発 成田着	グアム空港へ 空路:成田へ 成田着 [成田:ホテル泊]
10	7/30 (月)	成田市内のホテル	合同学習発表会・解団式 解散

平成30年度ミクロネシア諸島自然体験交流(派遣)日程表
～ミクロネシア連邦チューク州～

日次	月日(曜)	地名	日程
1	7/21 (土)	成田市内のホテル	参加者研修会 [成田:ホテル泊]
2	7/22 (日)	成田発 グアム着	成田空港へ 空路:グアムへ グアム着後、ホテルへ [グアム:ホテル泊]
3	7/23 (月)	グアム発 チューク(ウエノ島)着	グアム空港へ 空路:チュークへ 州政府職員からチュークの自然・文化等についての講義 歓迎交流会 [ウエノ島:ホテル泊]
4	7/24 (火)	ウエノ島 ～ ピサール島	トノアス島へ移動 トノアス島の小学校にてスポーツ交流、買い物体験 ピサール島へ移動 無人島体験 [海の活動 ミクロネシアの踊りの体験 など] [ピサール島:無人島泊]
5	7/25 (水)	ピサール島 ～ ウエノ島	[ウエノ島:ホテル泊]
6	7/26 (木)	ウエノ島	ホームステイ 二人一組で現地の子どもたちの家庭に宿泊
7	7/27 (金)	ウエノ島	歓送交流会 [ウエノ島:ホテル泊]
8	7/28 (土)	チューク(ウエノ島)発 グアム着	チューク空港へ 空路:グアムへ グアム着後、ホテルへ [グアム:ホテル泊]
9	7/29 (日)	グアム発 成田着	グアム空港へ 空路:成田へ 成田着 [成田:ホテル泊]
10	7/30 (月)	成田市内のホテル	合同学習発表会・解団式 解散

平成30年度マイクロネシア諸島自然体験交流(派遣)日程表
 ~マイクロネシア連邦コスラエ州~

日次	月日(曜)	地名	日 程
1	7/21 (土)	成田市内のホテル	参加者研修会 [成田:ホテル泊]
2	7/22 (日)	成田発 グアム着	成田空港へ 空路:グアムへ グアム着後、ホテルへ [グアム:ホテル泊]
3	7/23 (月)	グアム発 コスラエ着	グアム空港へ 空路:コスラエへ コスラエ着後、空港にて歓迎セレモニー、その後ホテルへ [コスラエ:ホテル泊]
4	7/24 (火)	コスラエ	州知事表敬訪問 州政府観光局職員からコスラエの自然・文化等についての講義、スリーピングレディ見学、買い物体験 ワラン村へ移動 [コスラエ:ワラン村泊]
5	7/25 (水)	コスラエ	ワラン村での活動 [海の活動 ワラン村散策 ワラン小学校宿泊 など] マングローブ探検 [コスラエ:ホテル泊]
6	7/26 (木)	コスラエ	ホームステイ 二人一組で現地の子どもたちの家庭に宿泊
7	7/27 (金)	コスラエ	歓送交流会 [コスラエ:ホテル泊]
8	7/28 (土)	コスラエ発 グアム着	コスラエ空港へ 空路:グアムへ グアム着後、ホテルへ [グアム:ホテル泊]
9	7/29 (日)	グアム発 成田着	グアム空港へ 空路:成田へ 成田着 [成田:ホテル泊]
10	7/30 (月)	成田市内のホテル	合同学習発表会・解団式 解散

平成30年度ミクロネシア諸島自然体験交流(派遣)日程表
～パラオ共和国～

日次	月日(曜)	地名	日程
1	7/21 (土)	成田市内のホテル	参加者研修会 [成田:ホテル泊]
2	7/22 (日)	成田発 グアム着 グアム発 パラオ(コロール島)着	成田空港へ 空路:グアムを経由してパラオへ パラオ着後、ホテルへ [コロール島:ホテル泊]
3	7/23 (月)	コロール島	日本大使館職員からパラオの自然・文化等についての講義、買い物体験 ガラスマオの滝での自然体験 [コロール島:ホテル泊]
4	7/24 (火)	コロール島 ～ ゲムリス島 (無人島)	ゲムリス島へ出発、(ミルキーウェイ経由) 無人島体験 [海の活動 パラオの踊りの体験 スポーツ交流 など] [ゲムリス島:無人島泊]
5	7/25 (水)	ゲムリス島 (無人島) ～ ペリリュウ島 ～ コロール島	ゲムリス島からペリリュウ島へ移動 ペリリュウ島の戦跡見学 ペリリュウ島からコロール島へ移動 [コロール島:ホテル泊]
6	7/26 (木)	コロール島	ホームステイ 二人一組で現地の子供たちの家庭に宿泊
7	7/27 (金)	コロール島	歓送交流会(昼食) [コロール島:ホテル泊]
8	7/28 (土)	パラオ(コロール島)発 グアム着	パラオ空港へ 空路:グアムへ グアム着後、ホテルへ(アーリーチェックイン) [グアム:ホテル泊]
9	7/29 (日)	グアム発 成田着	グアム空港へ 空路:成田へ 成田着 [成田:ホテル泊]
10	7/30 (月)	成田市内のホテル	合同学習発表会・解団式 解散



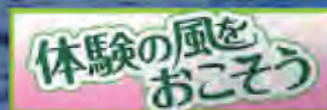
平成29年度 ミクロネシア諸島 自然体験交流事業 実施報告



主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構

後援：外務省・文部科学省・マーシャル諸島共和国

ミクロネシア連邦・パラオ共和国



National Institution For Youth Education

独立行政法人 国立青少年教育振興機構

平成29年9月発行

受入 事業

■事業の目的

日本とミクロネシア諸島の国々の青少年の国際交流を通して、グローバル社会に対応した高い国際感覚を備えた青少年を育成することを目的としています。

■日程

平成29年6月18日(日)～6月27日(火) 9泊10日

■招聘参加者(10歳～14歳)、随行者

マーシャル諸島共和国	参加者23名	随行者 4名	計27名
ミクロネシア連邦	参加者47名	随行者 8名	計55名
パラオ共和国	参加者12名	随行者 2名	計14名
合計	参加者82名	随行者14名	計96名

■日本人参加者

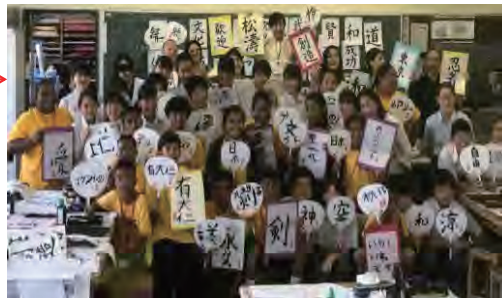
ホストファミリーの子供たち(小学5年生～中学2年生).....30名

■地方プログラム

北海道(国立日高青少年自然の家)、福島県(国立磐梯青少年交流の家)、広島県(国立江田島青少年交流の家)

日付	活動内容
6月18日	日本到着 オリエンテーション
6月19日	スポーツ交流 東京タワー見学 歓迎交流会
6月20日	松濤中学校訪問
6月21日	国会議事堂見学 各国大使館訪問
6月22日	各地方施設へ移動 (北海道・福島県・広島県)
6月23日	小学校訪問
6月24日	自然体験活動 ホームステイ
6月25日	ホームステイ ホストファミリーとの さよならパーティー
6月26日	各地方施設出発 成田市内ホテル泊
6月27日	日本出国

各国・地域対抗で様々なゲームを実施しました。特につなひきは全員が一体となって盛り上がりました。



松濤中学校では、招聘参加者と生徒が一緒になって書道、箏、剣道、昔遊び、着付けなどの日本文化を体験しました。

大使館では、日本とミクロネシア諸島との関係や交流の歴史、大使館の仕事について説明をしていただきました。



広島プログラムでは、江田島市立鹿川小学校を訪問し、鹿川小学校の生徒と一緒に机を並べて給食を食べました。

北海道プログラムでは、国立日高青少年自然の家で沢登りを体験しました。招聘参加者は、水が冷たくて驚いていました。



<於 国立磐梯青少年交流の家>

派遣事業

■事業の目的

日本とミクロネシア諸島の国々の青少年の国際交流を通して、グローバル社会に対応した高い国際感覚を備えた青少年を育成することを目的としています。

■日程

平成29年7月24日(月)～8月2日(水) 9泊10日

※1日目は参加者研修会(国立オリンピック記念青少年総合センター)

■派遣先

マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦ポンペイ州、パラオ共和国

■参加者(小学5年生～中学2年生)

47名(各国16名ずつ派遣)

※マーシャルのみ1名辞退者が出たため15名派遣

■随行者

ディレクター、リーダー、サブリーダー、コーディネーター、看護師、通訳

※前年度少年の主張全国大会発表者のうち、高校生9名がサブリーダーとして参加

日付	活動内容
7月24日	参加者研修会 オリンピックセンター泊
7月25日	グアムへ移動 ※パラオのみ25日にパラオ着
7月26日	ポンペイ、マーシャル へ移動 オリエンテーション
7月27日	○自然体験
7月28日	○野外生活体験
7月29日	○異文化交流体験
7月30日	ホームステイ
7月31日	ホームステイ ホストファミリーとの さよならパーティー
8月1日	グアムへ移動
8月2日	日本へ帰国 合同学習発表会

マーシャルでのシュノーケリング体験では、マーシャルブルーと称される鮮やかな青色に輝く海を堪能しました。



無人島では、パラオの子供たちと一緒に野外炊事をしました。みんなで食べるカレーの味は格別でした。

パラオでは、アルモノガイ小学校の子供たちから伝統的な踊りを教えてもらいました。



1泊2日のホームステイでは、ポンペイの子供たちとすっかり仲良くなりました。ホストファミリーの温かさが心に沁みしました。

ホストファミリーとのさよならパーティーでは、お互いの文化を紹介し合い、交流を深めました。



〈於 成田エクセルホテル東急〉

10日間一緒に過ごした仲間とお別れです。またいつか会いましょう！

■派遣参加者の声

- 私はこの事業に参加して、「マーシャルの良さ」を知りました。現地の方々は優しくてフレンドリーな方が多かったです。自然に恵まれていてとても良いなと思いました。
- この事業に参加して、行く前と帰ってきた後で、心の持ち方が変わったなと自分で実感しました。今まで日本でしか生きてことがない自分もったいなくなりました。英語がしゃべれなくても、笑顔とジェスチャーでつながった時のうれしさは忘れられません。この気持ちを大切にして、15年後、りっぱな社会人になってポンペイに帰りたいです。
- パラオの人たちとともに行動をすることにより、いつもの自分だったらできないようなことに取り組むことができました。また、人種などというものはなく、人間としてかわりあい、改めて人の温かさというのが分かりました。
- 自然や友情のうつくしさなどがすごくわかる、ステキな10日間になった。

■当年度までの参加者総数

受入 1,015名  →  派遣 1,739名  → 

2002~2017	マーシャル	ミクロネシア				パラオ	合計	子供の参加者総数
		ポンペイ	チューク	ヤップ	コスラエ			
受入	子ども	164	171	174	173	160	173	1,015
	随行	32	33	33	33	30	33	194
	小計	196	204	207	206	190	206	1,209
派遣	子ども	215	301	295	253	185	490	1,739
	随行	100	99	109	73	58	156	595
	小計	315	400	404	326	243	648	2,336
合計	511	604	611	532	433	854	3,545	2,754

※サブリーダーは、随行者に含む

ミクロネシア事業の参加者は、その後、積極的に海外留学をしています。

- 本事業参加者の29.8%が本事業参加後、「海外留学をした(している)」と回答しており、日本人大学生全体の留学者の割合の2.15%^{※1}と比べて大きく上回っています。

※1 日本人大学生全体の留学者の割合は下記により算出

- ①日本から海外への留学者数(平成24年度):60,138名(「ユネスコ統計局、OECD、IIE等における統計」平成27年2月:文部科学省)
- ②高等教育機関在籍日本人学生数(平成24年度):2,796,057名(「平成24年度学校基本調査(確定値)」平成24年12月:文部科学省)

※日本人大学生全体の留学者の割合:①÷②×100=2.15%

「海外留学をした(している)」の回答

